



茅ヶ崎市長候補 博士(農学)

かつら ひでみつ
桂 秀光

2015年4月26日投票、茅ヶ崎市長選挙 法定ビラ第1号

桂秀光は既成政党に疑問を感じる一般市民が設立し、桂秀光を支援し、政策を普及させるための確認団体、「クラブ二五三」から支援を受けています。

頒布責任者：〒253-0017 神奈川県茅ヶ崎市松林1-14 桂 秀光 印刷者：〒223-0058 横浜市港北区新吉田東8-47-54 株式会社シュービ

TEL: 0467-52-3975 FAX: 0467-54-1383 E-MAIL: bira@katsura.dk URL: http://airusa.org

必要不可欠でない、公共事業発注で亀井土建に奉仕し、血税を無駄遣いする服部市政を選ぶか、血税有効活用で、医科大学創設、鉄道網整備、安心で便利な茅ヶ崎にするかの選択です!!!

【1】^{やぶ}藪医者しかいない茅ヶ崎に医科大学創設!

茅ヶ崎市立病院の2014年度の予算は約156億円、一方、北海道旭川市に所在する国立の医学部単科大学である旭川医科大学の2013年度の予算は約264億円です。公立大学の運営費の半額は日本政府が負担する仕組みになっているため、茅ヶ崎市立医科大学を創設した場合、市として年約132億円の予算があれば運営可能です。従って、茅ヶ崎市立医科大学の運営は財政的に実現可能です。



(A) 茅ヶ崎市松林地区
民政児童委員、茅ヶ崎
市ボランティア連絡会初
代会長を歴任し、榎木
一策市政当時、茅ヶ崎
市広報に連載を寄稿し
ていた、私の母、

かつらたかこ
桂誉子が、2010年10月
頃から、右のふくらはぎ

付近が腫れ茅ヶ崎市内の複数の医療機関にかかるも全く症状が改善せず、激痛が酷くなり救急車で搬送され茅ヶ崎市立病院皮膚科、岡村有紀研修医の診察を受けると、2010年11

月2日、「^{ほうかしきえん}蜂窩織炎であり、絶対に治癒しない。」と診断され入院することになりました。
(B) 入院当日夜、医師に面会を申し込むと勤務時間外だからと言われ最初は拒否されました。電話で交渉して、ようやく医師に面会できることになり勤務先から駆けつけ、「私の医大勤務の友人から東京医科歯科大学医学部附属病院膠原病リウマチ内科宮坂信之教授の診察を受ければ治癒するのではないかとされているので紹介状を書いてもらいたい」と申し出ると、岡村研修医は、「^{かつらたかこ}桂誉子は、膠原病リウマチでは絶対ではないので、診察を受けても無駄であり、間違いなく、^{ほうかしきえん}蜂窩織炎であり他の医療機関で治療しても治癒しない。」と断言し、なかなか、紹介状を書こうとしませんでした。

(C) 岡村医師は、私と30分くらい激論をした後、退院時ならば、他医療機関への紹介状を作成することに同意しました。

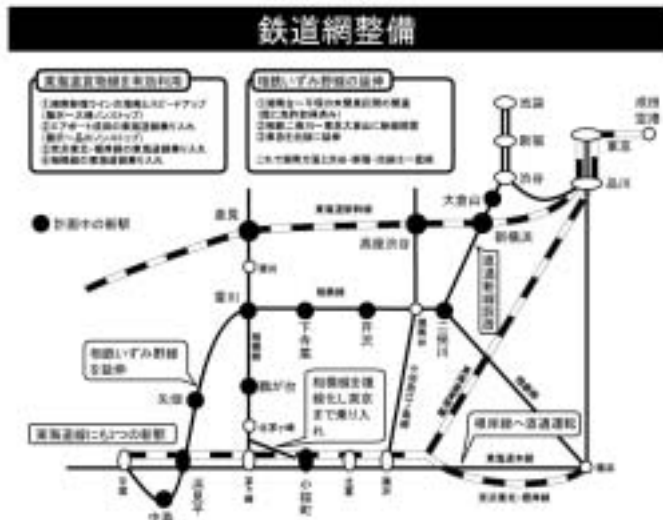
(D) 同年11月17日、母は市立病院を退院し自宅に戻りましたが左足首ふくらはぎの症状は悪化の一途を辿っていました。

(E) 同年12月10日、ようやく、紹介状を入手し、母に東京医科歯科大学医学部附属病院膠原病リウマチ内科、宮坂信之教授の診察を受診させると、宮坂教授から、「おかあさまは、

^{ほうかしきえん}蜂窩織炎ではなく、^{こうさんきゅうせいじんまくえん}好酸球性筋膜炎であり、適切な治療を受ければ最短2週間で完治する。」と診断され、入院することになりました。そして、2011年1月7日まで東京医科歯科大学医学部附属病院膠原病リウマチ内科に入院し、症状は改善し、少なくとも同院入院以前のような激痛は全くない症状となりました。(写真:左が母、右が桂秀光。2011年1月東京医科歯科大学で撮影。)

以上のような経験から茅ヶ崎市立医科大学医学部医学科を市長就任後できるだけ速やかに創設し茅ヶ崎市内の医療体制の改善を目指すことを決意しました。入学資格を理科系大学卒(学士)に限定し、入学後4年で医師免許を取得できる日本で初めての医科大学とします。これにより、茅ヶ崎市内に医学部附属病院が誕生し、茅ヶ崎市内で高度先端医療を受けられるようになります。

【2】茅ヶ崎の価値を維持、上昇させる!



週刊現代、2015年2月28日号に、「**間もなく不動産大暴落へ**」という記事が掲載されていることを御存知でしょうか?すでに、現在、東京都内の不動産価格は、ごく一部の地域を除き、下落傾向に転じております。人口が減少し、高齢化が進む、日本にあって、空間放射線量が首都圏一、低い、高級住宅地のイメージがある茅ヶ崎市も、この影響を受けざるを得ない状況です。その対策として、茅ヶ崎市内にできるだけたくさんの鉄道の駅を設置し、駅から徒歩10分圏内の場所を増やし、車がなくても安心して住める茅ヶ崎に致します。今年から入居者のいない不動産には、これまでの約6倍の課税がなされます。駅前を増やし、入居者を確保することが重要です。

【3】職責放棄の現職市長! 殺人事件?!



現職、服部信明市長は、市民の安全を守ることに全く興味のない政治屋(家)です。2014年10月、ホノルルとの姉妹都市協定を締結するためと称して、市長と副市長が二人同時にハワイへ贅沢三昧の公費出張中、副市長が変死したことにより判明したことは、いつ起こるかかわからない、大災害の際、責任者として活躍が期待される市長と副市長が職責を放棄しているという事実です。責任者2人の日本不在中に大災害が発生すれば、大混乱を引き起こします。服部市長による木村竹彦副市長変死の原因説明もコロコロ変わり、真実は未だ闇の中です。(写真:ワイキキビーチで木村竹彦副市長の遺体を搬送するホノルル市消防本部救急隊。撮影:Rico Leffanta)

私は、この変死が、もししたら巧妙な殺人事件ではないかと考え、すでに米国連邦捜査局 FBI などへ捜査依頼書を提出しております。私、桂秀光のような語学力、国際交渉能力がなければ原因究明は、できません。

【4】自宅で急死すると法外な請求が警察関係業者から届く現在の状況を変革!



私、桂秀光は、2015年1月上旬、仕事で、インド・ケララ州に出かけておりました。2015年1月4日、私の携帯電話に茅ヶ崎市消防署小和田救急小隊コバヤシ氏および茅ヶ崎警察署ナカムラ氏から国際ローミングで電話が

あり、私の父、桂一郎が、茅ヶ崎市松林の自宅で、亡くなった状態で発見されたことを知らされました。そして、茅ヶ崎警察署ナカムラ氏から、「親族が日本に帰国しないと手続きができないので、大至急、帰国するように」と要請をされました。2015年1月8日早朝、羽田国際空港へ帰国し、同日、茅ヶ崎警察署刑事課を訪ねました。

2015年1月8日の茅ヶ崎警察署刑事課の対応はひどいものでした。父の遺体が茅ヶ崎警察署にあると思って訪ねているにもかかわらず、遺体はないので、遺体には面会できず、刑事課山下巡査部長は、「遺体は、藤沢市羽鳥に所在する三幸運送という葬儀屋が預かっているの、そこに電話するように」と私に指示しました。三幸運送へ電話すると、「遺体は、藤沢市羽鳥の三幸運送ではなく、藤沢市弥勒寺の三幸運送湘南店にあるが、同店に遺族が出向いても、遺体には面会できない。葬儀屋を決めたら、そこに搬送する。」と言われました。そこで、和田湘南斎場に搬送するように依頼しました。三幸運送の取締役小濱太郎氏は、同日、私に面会し、「桂様宛、横浜市金沢区福浦に所在する稲村クリニック医師稲村啓二、平成27年1月5日発行の領収書(解剖料、検屍料、死亡届料) ¥88000円」を持参し、同社が立て替えている、¥88000円の支払いを求めると共に、桂様宛、平成27年1月8日に株式会社三幸運送霊柩寝台部が発行した請求書、請求金額¥175000円を私に渡し、支払いを求めました。そして、父の遺体に面会できたのは、同日17時になってからでした。(写真:桂秀光(右)と父の遺体(左)。2015年1月11日撮影。)

人の不幸につけ込んで、警察関係者まで巻き込んで、遺族から金を巻き上げるビジネスが横行していることを知りました。遺族が頼んでもいない、業者、医師に勝手に様々なことを依頼し、その費用は、すべて遺族に、法外な金額となって請求するという状況を変革します。

【5】一人暮らし老人を原則救急搬送しない現状を改革!

私の父、桂一郎は、2014年12月23日19時頃、茅ヶ崎市松林の自宅で転倒し、左腕が骨折したようなので、119番通報で救急車を呼びました。到着した、茅ヶ崎消防署小和田救急小隊員は、「特別な場合を除き、家族が付き添わない、老人一人だけでの救急搬送は行わない。」と父に伝え、なかなか、医療機関に搬送してもらえなかったと、2014年12月26日の生前、最後の父との国際電話で話し、「おまえが市長になって、このような状況を何とかしろ!」と怒っていました。

市内で一人暮らし老人の皆様が、ケガや病気の際、安心して救急車で搬送してもらえる市政へ変革します。

【6】介護保険を食い物にする業者を放置し、要介護者を見捨てる介護行政と決別!

(A) 私の母、桂管子は、2008年10月下旬、自宅をつまづき転倒し右手が使えなくなり要介護認定2を申請しました。母は独力で立ち上がることができず、介護電動ベットを茅ヶ崎市高田に所在するニッシュウから当初、月4000円で借りました。

(B) 要介護2認定がなされると、株式会社ニッシュウは、それまで月4000円で貸していた母の使っている電動介護ベットを同じ期間、全く同じものを月15500円で貸すことにし、介護保険の請求の書類を作成し茅ヶ崎市役所から金額を受け取ったようです。以上のような状況を市役所のしかるべき担当者に通告しても何も善処されることはありませんでした。

(C) 母は独力で用便ができなくなったのでTOTO製の電動便座を藤沢市指定の藤沢市遠藤のリビングプラザに2008年11月設置させました。

(D) 藤沢市内の業者に依頼した理由は、茅ヶ崎市内でこの便座を実際に施工した経験のある業者はなく、緊急に電動便座がなければ母が用便をする毎に家族がトイレに同行する必要があったためです。ところが、服部信明茅ヶ崎市長は、要介護2認定者に対し法令上支払うべき電動便座設置に係る保険金を支払わない決定をしました。

介護保険に伴う不当な利権を排除し、介護保険被保険者の実態に即した運用を行うように改めます。

【桂 秀光 紹介】 1956年(昭和31年)7月東京都生まれ。茅ヶ崎市立鶴が台小、桜美林中、桜美林高、東海大理学部化学科卒。東京理科大理学専攻科化学専攻、東京水産大(現、東京海洋大)大学院水産学専攻科海洋生産学専攻、東京農工大大学院連合農学研究科環境資源共生科学専攻(博士後期課程)修了。博士(農学)。米国政府招聘・サウスダコタ州立大国際科学者交換訪問者。国鉄茅ヶ崎臨時駅員、武相高講師、小田原少年院法務教官、育英工業高専(現、サレジオ工業高専)講師、東京都公立学校教員、品川区立荏原第四中教諭、品川区立伊藤中教諭、千代田区立麹町中教諭、都立大森高教諭、都立大森東高教諭、PROTEUS AIR SERVICES INC.(本社:米国カリフォルニア州)役員、筑波大附属坂戸高講師、藤嶺学園藤沢中講師、東海大学付属相模高講師、日本大豊山中講師、東京海洋大海洋科学系海洋環境部門博士研究員、マレーシア政府招聘・クアラルンプール大学駐在外国人講師などを歴任。2015年3月現在、マレーシア政府招聘・クアラルンプール大学 IPROM(工学部)駐在外国人講師として在職する傍ら、アジア、アフリカ地域で発行される学術雑誌の編集委員、審査員として活躍中。ノーベル平和賞受賞国際機関、化学兵器禁止機関 OPCW の支援を受けインドで招待講演実施。東京海洋大在職中は、東電福島第一原発事故による海洋汚染の魚類への影響を研究。専門は同位体(アイソトープ)。妻は、桂太郎元首相が約100年前創設した、横浜市神奈川区に所在する、社会福祉法人恩師財団済生会神奈川県病院で看護部長を歴任。

主な研究業績: <http://www.katsura.dk>